

NPO法人のスタッフに向け、 「こころをつなぐ」ハンドケアマッサージ講習会」を開催 そのトレーニング成果が、出張相談会で生かされました

株式会社カネボウ化粧品



カネボウ化粧品は、2012年10月23日に、ひとり親世帯と地域住民を対象に支援活動続ける特定非営利活動法人「インクルいわて」のスタッフに向け、「ハンドケアマッサージ講習会」を実施しました。

インクルいわては、岩手県内各地で出張相談会を開催しています。今般、相談者がリラックスした雰囲気の中で相談ができるよう、相談会の中に「ハンドケアマッサージ」を盛り込むことを企画。今回の「ハンドケアマッサージ講習会」は、その運営にあたっての事前トレーニングとなりました。

11月4日に釜石市で行われた出張相談会では、早速今回習得した「ハンドケアマッサージ」が取り入れられ、講習会でのトレーニング成果が生かされました。「ハンドケアマッサージ」という触れ合いを通じて相談者の“こころ”もほぐれ、より意義のある相談会になりました。

カネボウ化粧品では、今後も、地域に寄り添ったインクルいわてならではの「こころをつなぐ活動」への協力を継続していく予定です。

特定非営利活動法人「インクルいわて」との活動経緯

インクルいわては、ひとり親世帯の親と子が楽しく健康で文化的な生活を自ら歩むことができるよう、就業支援事業、生活支援事業、地域連携事業等を行う特定非営利活動法人です。2012年6月には、東日本大震災の被災地である岩手県のシングルマザーと震災の影響を受けた女性を対象に「インクルフェア」を開催。シングルマザーや被災地の女性が前向きになれるよう、多彩なプログラムが実施されました。カネボウ化粧品はこのイベントのプログラムのひとつとして美容相談会を企画し、ハンドケアマッサージなどを実施。当日会場では、楽しそうな会話や笑い声が途切れることなく、カネボウ化粧品のスタッフは、「化粧」や「美容」を通じたコ



ミュニケーションの重要性を改めて確認し、肌に関することやメイクアップといった共通の話題からコミュニティづくりにつながることを改めて実感しました。主催者であるインクルいわてもまた、「ハンドケアマッサージ」などを介したコミュニケーションの重要性・有効性を実感。そのような経緯から、今般カネボウ化粧品が、インクルいわてのスタッフにも「ハンドケアマッサージ」のノウハウをレクチャーする運びとなりました。

参加されたスタッフの皆さんは、ハンドケアの効果や基本の手技を習った後、お互いの手を取り合いながらトレーニングを繰り返し行い、リラックスしながらの会話の効用を強く実感していました。

「つながるコミュニティづくり」を推進



11月4日に釜石市で行われた出張相談会「出張インクルカフェ in かまいしおおつち」では、早速今回習得した「ハンドケアマッサージ」が取り入れられました。スタッフの皆さんは、カネボウ化粧品の講習会でのトレーニング成果が生かし、「ハンドケアマッサージ」をしながら、相談者とコミュニケーションを図りました。これまでの相談会は、ともすれば堅い雰囲気の中で実施されていましたが、「ハンドケアマッサージ」という触れ合いを通じて、単に手や腕がほぐれただけでなく、相談者の“こころ”もほぐれ、より意義のある相談会になりました。

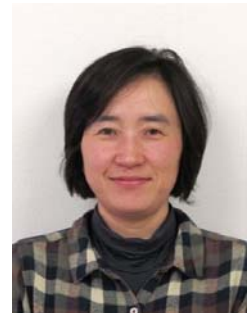


カネボウ化粧品では、企業の「使命」として「美しさの先に、笑顔を。」を掲げており、美しさの先に笑顔があふれる幸福な社会の実現に向け、持続的な活動を推進しています。今後も、「化粧」や「美容」を通じた「つながるコミュニティづくり」形成に寄与する活動に取り組んでいきます。

<講習会実施概要>

- 日にち 2012年10月23日(火)
- 場所 アイーナ(いわて県民情報交流センター)
- 内容 インクルいわてのスタッフに向けたハンドケアマッサージ講習会
- 参加者のコメント

「相談したいことはあるけれど、“相談会”となると敷居が高い」「悩み相談ではないけれど、ちょっと話したい」— そんな方々が気軽に足を運べてお話ができる空間をつくるにはどうすればいいのだろうか？日々の活動の中でそんな悩みを抱えていた私たちは、6月に実施したインクルフェアで、カネボウ化粧品のハンドケアを受けている方々の笑顔を思い出しました。「笑顔になれることで、緊張がほぐれていき、自然な会話が生まれる。そんな形で自然に寄り添える相談体制がくれたら……」。カネボウ化粧品のご担当者に相談したところ、すぐに対応していただき、今回の講習会開催となりました。



講習会の成果を早速披露したのが釜石での「出張インクルフェア」です。3時間のフェア開催中、ハンドケア希望者は絶えることがない状態で、合計20人もの方々とハンドケアを通して触れ合うことができました。助産師であるスタッフが担当した妊婦さんは「助産師さんなら相談したい」と、ハンドケアを受けながら、子どもの夜鳴きなどの相談をしていました。また中学生の女の子は、ハンドケアの最中、学校の部活や将来の夢について語ってくれました。参加者の皆さんは、はじめは表情も硬く緊張されていたのですが、ハンドケアを終えた後は「とっても気持ち良かったです！」と全員笑顔で帰られました。

カネボウ化粧品の講習会を受けた時に、私たちスタッフが笑顔になれたので確信もありましたが、実際にハンドケアを通じた相談会は大成功でした。

(特定非営利活動法人 インクルいわて 事務局長 佐々木 啓江さん)

<参考：カネボウ化粧品の社会貢献活動>

カネボウ化粧品では、企業の「使命」として、「美しさの先に、笑顔を。」を掲げています。人が化粧やお手入れによって前向きになり、人との関わりの中で喜びや楽しみを見つけ、美しさが持つ無限の力を感じ取り、社会に笑顔の連鎖が広がることを、カネボウ化粧品の“存在意義”である「使命」に込めています。

社会貢献においても、美しさの先に笑顔があふれる幸福な社会の実現に向け持続的な活動を推進し、「化粧」や「美容」を通じた女性のコミュニティ形成に寄与させていきます。

<カネボウ化粧品の社会貢献活動方針>

- ①次世代の育成に役立つ活動を行います。
- ②地域の社会・文化の発展に貢献することを目指した活動を行います。
- ③持続可能な社会に向けて、環境を守り育てる活動を行います。
- ④カネボウの持つ資源を有効に活かせる活動を行います。
- ⑤社会的支援として、バリアフリー社会を推進する活動を行います。
- ⑥一人ひとりの社員が良き市民として、社会的活動に参加できるような風土をつくれます。

今後も、社会の声に耳を傾け、カネボウ化粧品ならではの資産を有効に活用できる社会貢献活動を創出していきます。